



熊本市婦人ボランティア学級  
社会福祉施設奉仕  
班のパウラスホーム慰問

## ボランティア活動 —— “あなたの余暇を社会のために、” ——

ボランティア活動とは

あなたのもっている知的、技術的なことや労力（時間と能力）を進んで社会のために役立てることによって自らを高める勉強と実践活動です。

## 熊本の経済雑感

安藤 正

平均一人当たり所得七十三万円に対し熊本は四十八万円、四十五位と報ぜられており、所得隔差をあらためて知らされる。しかし数字を詳細にみれば、その伸び率は一七・一%と

こうした矢先、過日経済企画庁の「四十七年度県民所得」が発表された。全国平均一人当たり所得七十三万円に対し熊本は四十八万円、四十五位と報ぜられており、所得隔差をあらためて知らされる。しかし数字を詳細にみれば、その伸び率は一七・一%と

争も一段と激しくなることが予想される。今日、各企業とも更に技術向上と合理化に取組み、ユニークな良い商品を安く供給することによって競争に勝ち抜くことが、引いては所得隔差是正を進める所以ともなる。

熊本に着任して近く二年、熊本が好きというより愛着を抱く今日この頃、熊本の経済の力強い発展を願う気持は日一日と強まっている。県勢の発展は行政当局の努力はもとよりのこと、企業経営者も農家も消費者も、それぞれの立場から目標に向かって自からの最善を尽し体力をつけると共に、郷土を愛し協力して育ててゆく努力を積重ねる以外にないといえよう。かくいう私も金融に携わるものとして、責任の重さを痛感すると共に、一県民として微力ながら尽力して行くことを肝に銘じている。

四十九年十一月稿（日銀熊本支店長）



このところ全国的に景気停滞の様相が深まってきている。当地もその例外ではなく、かなりの企業が生産調整を余儀なくされており、商店街の売れ行きも今一つ腰が弱いといわれる。二年近くにおよぶ総需要抑制施策の影響が現われてきているためであるが、インフレの根を断ち切り、真に安定した福祉経済実現のためにはもう少し我慢してもらわねばと思

全国平均の一六・四%を上回っており、隔差はある程度縮小している。これまでの地域開発施策と経営家をはじめとする県民の努力が実ってきつつある証左で慶びに耐えない。しかもその後有明臨海工業地帯の操業本格化など開発の進展や、米価引上げ等農産物価格の上昇などを考えれば隔差是正はさらに進んでいると推測される。しかしなお相当の開きがあることはいえない。

従来熊本の景況変動は、中央に較べれば波が小さいといわれる。企業家の仕振りが総じて堅実であるほか、農業を中心とする一次産業が下支えしていたためであろうが、世界的な食糧危機が問題とされ、農業が見直されなければならない趨勢下、熊本はこの面でも大きな成長力を貯えて来たといえよう。これまでも農業基盤整備などを着々と進め、地域に密着した農業育成の施策が講じられてきたことは高く評価されるが、これからは、世界的な視野に立った確固たる信念のもとに、地域の特性を生かした高生産性農業の確立が図られねばならないし、ひいては、所得浮揚の大きな力となる。この意味で農家も合理化と経営効率の向上に一段と力を注がねばならない点、企業経営と何ら変わるところはあるまい。

このように想をめぐらせてくれば、熊本経済の将来は、わが国経済の先行き成長鈍化にもかかわらず、新しい情勢に十分対応できるように思われる。事実それだけのバランスのとれた潜在成長力を持つており、方向づけも「熊本県基本構想」によりすでに打出されている。ただ全体としての伸び率鈍化の中で地域と所得隔差の是正を進めてゆくためには、大きく動いている世界経済の流れに即応し、急がずに一歩一歩足許を固めて行くことが何より肝要であり、さらには従来にも増して創意工夫と努力と協力が必要であることはいうまでもない。